

第2回第六採択地区協議会 議事録

期 日	令和6年7月25日(木)		
場 所	朝霞市民会館ゆめぱれす 3階 301会議室		
開 会	午前9時00分		
閉 会	午後2時40分		
委 員	志木市教育委員会	柚木 博	教育長
	志木市教育委員会	八代 豊	教育長職務代理者
	志木市教育委員会	岩澤 千恵子	委員
	志木市教育委員会	上野 幸子	委員
	志木市教育委員会	飯田 昌利	委員
	志木市保護者代表	久保 大地	志木市PTA連合会
	新座市教育委員会	金子 廣志	教育長
	新座市教育委員会	鈴木 松江	教育長職務代理者
	新座市教育委員会	小泉 哲也	委員
	新座市教育委員会	脇田 美保子	委員
	新座市保護者代表	佐藤 明香	新座市PTA連合会
事 務 局	志木市教育委員会	佐野 隆之	教育政策部参事兼学校教育課長
	志木市教育委員会	岩崎 壮志	学校教育課指導主事
	新座市教育委員会	山崎 孝雄	参事兼教育支援課長
	新座市教育委員会	宇賀田 恵亮	教育支援課教育支援係長

令和6年度第2回第六採択地区協議会（令和6年7月25日（木）開催）

朝霞市民会館ゆめぱれす 3階 301会議室

1 開会の言葉

司 会（志木市教育委員会学校教育課指導主事）

- ・第2回第六採択地区協議会を開会する。

2 挨拶（第六採択地区協議会長・志木市教育委員会教育長）

会 長

- ・ただいまより、令和6年度第2回の採択協議会を開催する。
- ・それぞれの教科の説明があり、採択に関する資料が提示されると思う。
- ・各教育委員会で十分に吟味し、最適な教科書を採択できるよう進めてまいりたい。

3 事務局からの連絡

司 会

- ・事務局から本日の日程等について連絡する。

事務局

- ・議事の報告に続いて、調査員の調査研究結果の報告と質疑応答を行う。
その後、協議に入る。

司 会

- ・ここからは、第六採択地区協議会規約の第十条第2項により会長に議長をお願いする。

4 議事

議 長

- ・採択に係る情報の積極的な公開が求められていることから、議事録作成のため録音し、記録作成が済んだら消去することによろしいか。

委 員

- ・異議なし。

議 長

- ・議事録の署名委員については、志木市教育委員会 八代 豊 教育長職務代理者、新座市教育委員会 鈴木 松江 教育長職務代理者としてよろしいか。

委 員

- ・異議なし。

議 長

- ・本日の協議会は公開とするが、よろしいか。

委 員

- ・異議なし。

議 長

- ・事務局から提案がある。

事務局

- ・教科書（案）の決定については、展示会アンケートや各学校からの調査研究結果も考慮し、調査員の調査研究結果の報告をもとに第六採択地区協議会規約第十一条に従い協議し、決定したい。お諮りいただきたい。

- 議 長 ・事務局の提案について、いかがか。
- 委 員 ・異議なし。
- 議 長 ・協議の細かい点については、第六採択地区協議会規約第十一条に従って協議の時に確認することとする。事務局より報告願う。

(1) 報告

- 事務局 ・令和6年6月18日(火)から7月1日(月)まで、志木市総合福祉センターで開催された教科書展示会には、のべ150名が来館した。
- ・アンケートの回答内容については、教科書の内容に関するもの、会場運営に関するもの等がある。記入者は、保護者、一般の方、教員等である。また、各学校からの調査研究のまとめについて、委員に渡してあるので、協議の際の参考としてほしい。
- 議 長 ・質問はあるか。
- 委 員 ・ない。

(2) 調査員の調査研究結果の報告と質疑応答

- 議 長 ・調査員の調査研究結果の報告と質疑応答に入る。
- 議 長 ・社会・地図の調査員代表より、調査結果について報告願う。
- 調査員代表 (報告書に基づいて、社会地理4発行者、歴史9発行者、公民6発行者、地図2発行者について報告する。)
- 議 長 ・質問はあるか。
- 委 員 ・帝国書院の地理は地図との連携が図れるとあったが、逆に地理と地図が同じ出版社だった場合のメリットデメリットはあるか
- 調査員代表 ・連携を意識しているので使いやすいメリットはあるが、デメリットは学習において足りないものはない。
- 委 員 ・現行は地図と地理で出版社は異なるが、現場からの意見はあるか。
- 調査員代表 ・特に無い。
- 委 員 ・デジタルコンテンツを活用する部分が多くのっているが、授業する際に教師側はどうなのか。生徒側は主体的にいかされるかどうなのか。
- 調査員代表 ・調べ学習に役立つ、教師側からみるとワークシートがデジタル化されている。どちらにも役立つコンテンツがある。
- 委 員 ・デジタルコンテンツを活用する時間はとれるのか。

- 調査員代表 ・問題解決学習を意図した展開であれば、時間を確保することは可能。
- 委員 ・歴史、歴史的事実と神話について平行で日本史と世界史それぞれで掲載されているが、世界史では検証できているが、日本史ではできてない場合の生徒の混乱はあるのか。
- 調査員代表 ・特にそうは思わない。混乱もない。
- 委員 ・公民の人権で、手厚く保障、幅広く保障といった主観的に近いような評価をされている出版社があったが次の段階の新しい人権に入る時、生徒が混乱するのではないか。
- 調査員代表 ・現在も様々な課題があり、これまでは対応しているが、新しいものは新しいものに対応している。自分達はこれからどのようにしていくかを問うものである。
- 委員 ・帝国書院の地理は2～3ページおきに確認等があるが、授業で使用されているのか。丁寧になりすぎてページ数増加になっていないのか。
- 調査員代表 ・すべて実施する必要はないが、定着度を見た際に生徒自身が確認するような使い方ができる。問題解決学習の最後にあたるまとめとして使用できる。取捨選択しながら使用する。ページ数増加にはなるが、学習保障という点ではよい。
- 委員 ・同緯度の日本の位置が示されている。日本の位置について異なる表示があるがどうなのか。
- 調査員代表 ・特に心配はない。
- 議長 ・理科の調査員代表に調査結果について報告願う。
- 調査員代表 (報告書に基づいて、理科5発行者について報告する。)
- 議長 ・質問はあるか。
- 委員 ・3冊の合計を記載した意図は。中1ギャップ等の関連について
- 調査員代表 ・合計質量について毎日生徒が持参する際の観点としてみた。フォントのサイズについてはギャップを埋めようとする効果はあったと考えた。
- 委員 ・出版社によって理科、科学、サイエンスといった名称があるが、どう考えたらよいか。
- 調査員代表 ・出版社の考えがあると思うが、明確な回答はできない。
- 委員 ・写真、文字、図のバランスがよいが、調査資料2に埼玉県に関する資料に差がある。埼玉県に関する資料についてどのような見解があるか。
- 調査員代表 ・教師の指導観に係るが、どちらがよいとはいいがたい。

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・QRコードの使い方について、授業で使用する際、手順があったほうがよいのか、紙面がよいのか。学校の授業でどう扱っているか。 生徒の躰きやすい箇所について、文章でまとまっていた方がよいのか、図でまとめられている方がよいのか。
調査員代表	<ul style="list-style-type: none"> ・QRコードについては、子ども達が家等で自由に見ることが出来るのは大きなメリットである。文章か図かは一概には言えないが、図が分かりやすい子や文書でよく読みたい子もいる。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・QRコード数が各発行者によって数が異なるがどうなのか。
調査員代表	<ul style="list-style-type: none"> ・全ページにあればすぐとべるが、場所さえ分かればすぐとべるのでどちらがよいとは言えない。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・国語・書写の調査員代表に調査結果の報告を願う。
調査員代表	(報告書に基づいて、国語4発行者、書写4発行者について報告する。)
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・質問はあるか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・書写総括に国語と書写が同じ出版社であることの相乗効果はどの程度か。デジタル教科書が用意されることで生徒が主体的に学びに向かうとあるが、どのような考えか。
調査員代表	<ul style="list-style-type: none"> ・書写に国語の教材内の文書の記載があるので内容の深まりにつながる。新聞を作る際等に分かりやすい。 家庭学習の際にデジタルコンテンツを使用して理解することが大事である。その際の発見が主体的な学びにつながる。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・古典の扱いが充実しており、生徒の意欲関心を高めているが、古典を深められることについて話題となったことがあれば教えて欲しい。
調査員代表	<ul style="list-style-type: none"> ・古典の目的として伝統文化を現代に生かすとあるが、QRコードによる動画を視聴する事で内容理解につながる。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・光村図書の書写の方に詰め込みすぎ、内容が多いという言葉が出ているが、現場の先生方はどのように感じているのか。
調査員代表	<ul style="list-style-type: none"> ・指導力にもよるが、多いという感覚というよりはコンテンツ等を使用しながら教えていく。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・国語全体的に情報量が多く、1つの章に対して課題が多い。
調査員代表	<ul style="list-style-type: none"> ・観点が様々ある中で、それ相応の文章を学ぶということから系統もありはずすことができない。きざみながら実施していくために情報量が多い。しかしデジタルコンテンツの活用により繋げながら展開している。

- 委員 ・百人一首に対してどのような扱いになっているのか。
- 調査員代表 ・和歌に関する内容であるが、各市、各学校によって異なる。時期をみて子供たちの興味関心を高めるためにも実施していく。
- 議長 ・数学の調査員代表に、調査結果について報告願う。
- 調査員代表 (報告書に基づいて、数学7発行者について報告する。)
- 議長 ・質問はあるか。
- 委員 ・啓林館の報告書の資料に情報の過多による圧迫感が少ないとあるが、授業の際に理由まで教科書に求めるのか、必要最小限の方がよいのか教えて欲しい。
- 調査員代表 ・啓林館はシンプルで分かりやすい。説明しすぎることを防ぐためにもよい。2年生は論理的思考のスタートとなるが、根拠づけて説明することの大切さについての意図があり共感した。難しい説明を省き、法則性で記載されていることで数学が苦手な子への配慮が高い。
- 委員 ・1年生のスタートで、7社中3社は素因数分解からだが、小学校から中学校になった際に初めに素因数分解を出すのはなぜなのか。実際に生徒はどう思っているのか。
- 調査員代表 ・かつて素因数分解は3年生の因数分解の前段階で扱っていた。しかし、現在は1年生の初めで扱っている。マイナスを含むことがないため正負の数の前段階として扱える。算数的な要素として掛け算を基にして扱うことでスムーズな接続につながる。
- 委員 ・P P D A Cサイクルはどの程度浸透しているのか。
- 調査員代表 ・ある特定の会社ではなく、こどもの思考のサイクル、大人となったときのためのものの考え方であり、すべての発行者で扱いがあり、調査員会義でも話題になりとても良いことだと考える。
- 議長 ・家庭の調査員代表に調査結果について報告願う。
- 調査員代表 (報告書に基づいて、家庭3発行者について報告する。)
- 委員 ・東京書籍と開隆堂は、自立したと統一があるが、教育図書だけ校正が異なるがそう感じたか。
- 調査員代表 ・内容としては大きく違いはない。
- 委員 ・食を扱うのを前に出すのとそうでないのがあるが、実際には教師や生徒はどのように感じているのか。

- 調査員代表 ・どちらにも良さがある。A B Cの順であれば小さなころからの振り返りから改めて思春期の子供が考えることができる。Bからスタートであると小学校の家庭科のイメージから入ることが出来るため子供たちの意識に近い。
- 委員 ・消費者の権利と責任、トラブルの項目で詳しい発行者とシンプルな発行者があるが、中学生にとってどの程度必要なのか必要性について知りたい。
- 調査員代表 ・成人が18歳に引き下げられたので、生徒にとっては身近な問題として知識として知ることが大切な問題である。
- 議長 ・ここで、休憩とする。
- 議長 ・再開する。
- 議長 ・保健体育の調査員代表に、調査結果について報告願う。
- 調査員代表 (報告書に基づいて、保健体育4発行者について報告する。)
- 議長 ・質問はあるか。
- 委員 ・報告書の中でページに対する資料の割合について、学研だけ記載がないのはなぜか。大修館はバランスがあり見やすいとあり、見やすいと読みやすいではどちらの方がよいのか。
- 調査員代表 ・保健で教科書を活用することが多いが、資料として活用する場合と知識として読み物として活用する場合があり、授業としては好みで分かれる。バランスは大切であると考える。
学研もバランスがとれている。
- 委員 ・スポーツが得意の子とそうでない子がいるが、スポーツ選手の怪我についてそうでない子も怪我について心配があるが、保健体育に対する生徒の意識はどうか。
- 調査員代表 ・体育の場合は実技が中心であるが、保健の分野は自分自身の知識として自分の必要な部分を教えていくことが多いと感じる。知識として興味関心をたかめるものとして教科書は大切である。保健では体に対する理論的なことを知るという意味ではとてもよい。
- 委員 ・性に関する表記については特徴的なものはあったか。
- 調査員代表 ・性に関しては様々な考え方があることを取り上げており、特徴だけでな

く考え方に文言をおいている印象を受けた。

- 議長 ・音楽の調査員代表に、調査結果について報告願う。
- 調査員代表 (報告書に基づいて、音楽一般2発行者、器楽合奏2発行者について報告する。)
- 議長 ・質問はあるか。
- 委員 ・器楽の教育出版のホール・ニュー・ワールドを扱っているが声の役割働
きで表現方法を工夫しようとするが、楽譜だけある状態だが、家庭で復
習しようとする際、学校の授業を想起して実施するができないのではな
いか。
- 調査員代表 ・だからこそ馴染みのある選曲がされている。さらにQRコードがあるので活用しやすい。
- 委員 ・音楽の時数は少ないが、一般と器楽を分ける必要があるのか。
- 調査員代表 ・中々器楽に取り組む時間がないのが現状。しかし領域が分かれているの
で分ける必要はある。
- 委員 ・ギターとキーボードのコード表があるが、指で示したものと指の図で示
したものがあがるが、素人としては指よりも図の方が分かりやすいと感じ
たが実際はどうなのか。
- 調査員代表 ・絵の方が簡潔に示せるが、実際に自分の指が動いているのは写真となる。
- 議長 ・外国語の調査員代表に、調査結果について報告願う。
- 調査員代表 (報告書に基づいて、外国語6発行者について報告する。)
- 議長 ・質問はあるか。
- 委員 ・ポイントとしてデジタルコンテンツであるが、授業として扱うのか、家
庭で扱うのかどう想定しているか。教育出版中1P88の写真にモザイ
クがあるが、支障はないと思うが子ども達としてはどうなのか。
- 調査員代表 ・授業の中で効果的であると判断している音読や中身を理解するための点で
あれば活用している。発音等の場面では家庭の活用を推進している。
モザイクに関しては、子ども達からすると違和感はあると思うが、指導
上では申し上げることではない。
- 委員 ・小学校との教科書の関連性について、どのような場面で取り上げられて
いるのか。
- 調査員代表 ・小中連携、一貫の視点について、単語の導入や新出語について丁寧に明

示されている。小学校における、話すこと、やりとりをすることについて教科書にも活用場面がある。指導者が把握したうえで指導する必要があると感じる。

- 議長 ・美術の調査員代表に、調査結果について報告願う。
調査員代表 (報告書に基づいて、美術3発行者について報告する。)
- 議長 ・質問はあるか。
委員 ・表現力は教師の力量により美術のチカラにばらつきがでそうだがどうなのか。
調査員代表 ・指導の力量もあるが、教科書会社の視点もある。若手教員も増えてきているので、研修等で高めていく必要がある。教科書でということではない。
委員 ・表題の付け方にちがいがあると思うが、学習内容としては同じものと考えてよいのか。
調査員代表 ・題材は異なっても同じところにたどりつくのでどの教科書会社であってもよい。

- 議長 ・道徳の調査員代表に、調査結果について報告願う。
調査員代表 (報告書に基づいて、道徳7発行者について報告する。)
- 議長 ・質問はあるか。
委員 ・道徳ノートの内容について、設問が設定されすぎていると道徳ノートにひっぱられ足かせになりやすい。表現として具体的か曖昧かどちらがよいのか。
調査員代表 ・1者だけが道徳ノートを紙で付けている。現行よりも自由度が高くなった。経験の浅い教員としてはしづかりがあったほうがよいが、生徒の実態に合わせた活用とすると設定が多すぎると扱いにくいと考えられる。一人1台端末があることにより蓄積したり教員が活用したり授業がかわってきている。デジタルでも同様のものがあるため、各社紙ベースでついているかどうかで採択の基準にはならない。

- 議長 ・技術の調査員代表に、調査結果について報告願う。
調査員代表 (報告書に基づいて、技術3発行者について報告する。)
- 議長 ・質問はあるか。

- 委員 ・知識技能の習得の場面等でどういう位置づけで行うのか。
- 調査員代表 ・小学校4年生との関連がある。技能からか、使い方を教科書から学ぶのが先かは教師によるが、基本的な使用については説明が必要。各教員の課題設定により異なる。
- 委員 ・生活と環境との関わりかたがあるがその点は座学か。
- 調査員代表 ・座学による思考判断。ある程度課題を提示し自分で判断していく。
- 議長 ・以上で、調査員の調査研究結果の報告を終わりにする。

<昼食・休憩>

- 議長 ・午後の部を開始する。
- 議長 ・協議に入る前に、進め方について諮る。
第六採択地区協議会規約第十一条に従い、協議会の会議において協議し、委員全員の一致によって、決する。協議が調わない種目があるときは、委員は、それぞれ選定すべきと考える教科用図書に投票を行い、過半数の投票を得た教科用図書を選定する。その場合において、過半数の投票を得た教科用図書がないときは、最多数の投票を得た2種類の教科用図書について投票を行い、多数を得た教科用図書を選定する。
この場合において、投票を行うべき2種類の教科用図書及び選定する教科用図書を定めるに当たり、得票数が同じときは、協議の経過を勘案し、会長がこれを決する。

(3) 協議

- 議長 ・協議を行う。社会について、地理的分野について意見はあるか。
- 委員 ・帝国書院がよい。地図と相まって写真の読み取り方を見ながらどう読み解くかという学びの導入が丁寧である。グラフ等についても同様。
- 委員 ・帝国書院は写真が使われ、文字も見やすい。写真で眺める〇〇という学習する地域の写真をスタートに使っているので把握しやすい。
- 議長 ・地理的分野については、委員全員の一致により帝国書院に決定でよろしいか。
- 委員 ・異議なし。

議長	・歴史的分野について、意見はあるか。
委員	・東京書籍がよい。歴史分野はニュートラルな考えを子供たちに教えて欲しいと思っているので一番ニュートラルに書かれている。
委員	・東京書籍がよい。探究へのステップがあり、習熟度度別に学習ができたりとよい。
委員	・デジタルコンテンツがとてもよくできている。
議長	・歴史的分野については、委員全員の一致により東京書籍に決定でよろしいか。
議長	・公民的分野について、意見はあるか。
委員	・東京書籍でよい。導入の活動、まとめの活動が深めようという流れがあり、学習したことを確認しやすい。
委員	・東京書籍がよい。QRコードの数が多い。対話的な活動が設定されており対話はとても大切であると思う。
委員	・東京書籍でよい。拉致被害者の問題についてもう少し本文で記述が欲しかった。教員の方で補ってもらえればよい。
議長	・公民的分野については、委員全員の一致により東京書籍に決定でよろしいか。
委員	・異議なし。
議長	・地図について、意見はあるか。
委員	・東京書籍の写真は主に風景が中心。帝国書院は人物が入った上での生活を営むような写真でありその土地に住む人々の生活を加味した上で帝国書院がよい。
委員	・帝国書院がよい。視覚的に立体的に地図が見える。地理が帝国書院ということもあり帝国書院がよい。
委員	・非常に見やすい地図である。理解しやすい絵柄になっているので帝国書院がよい。
議長	・地図については、委員全員の一致により帝国書院に決定でよろしいか。
委員	・異議なし。
議長	・理科について、意見はあるか。
委員	・教育出版がよい。分かりづらく躓きやすい箇所について図により分かりやすくしている。これから理科を学ぶ中学生にはよい。

- | | |
|----|--|
| 委員 | ・小学校からの続きで入れる。文字の大きさも配慮がある。埼玉県に係る資料が多くあり生徒の興味関心を高められるので教育出版がよい。 |
| 委員 | ・教育出版がよい。写真文字はどここの会社もあるが、この会社はバランスがよい。 |
| 委員 | ・東書もなかなかよい出来である。小学校の連携を考えると教育出版もよい。 |
| 委員 | ・東京書籍がよいと思っていたが、意見を聞いて甲乙つけがたい思いがある。 |
| 委員 | ・東京書籍は、章末問題がしっかりとしていて復習がしやすいと思う。意見を聞いて、教育出版もよい。 |
| 議長 | ・理科については、委員全員の一致により教育出版に決定でよろしいか。 |
| 委員 | ・異議なし。 |
| 議長 | ・国語について、意見はあるか。 |
| 委員 | ・国語は重要な教科である。日本人として正しい使い方を学ぶため良い文章やよい文学作品、代表的な古典にも触れていくことが大切でその点について見ていった。どの会社も甲乙つけがたい。バランスよく言語としての機能、日本人としてのアイデンティティを確立するために総合的に見たときに光村図書が一步秀でているのでは無いかと思う。 |
| 委員 | ・光村図書がよい。中3に奥の細道がある。実際に松尾芭蕉が通った地図があり、社会との横のつながりや「握手」等の道徳的なものが扱われている。 |
| 委員 | ・光村図書を押したい。語彙ブックを入れてくれているのがありがたい。百人一首が全体を総括して例として挙げている。楽しむことをもとに扱っている。 |
| 議長 | ・国語については、委員全員の一致により光村図書に決定でよろしいか。 |
| 委員 | ・異議なし。 |
| 議長 | ・書写について、意見はあるか。 |
| 委員 | ・国語と書写で連動すると相乗効果が高まるとあったので光村図書がよい。 |
| 議長 | ・書写については、委員全員の一致により光村図書に決定でよろしいか。 |
| 委員 | ・異議なし。 |

議長	・数学について、意見はあるか。
委員	・啓林館が子供の思考について難しく感じさせないような導入を工夫していると感じた。抵抗感のある素因数分解は数の広がりで扱っているのがよい。数量でなく生活の状況から入る形が多く子供の負担感を減らしシンプルで良い。
委員	・啓林館がよい。1年数学導入に目次より先に教科書の使い方があり関心した。図解がとても分かりやすく練習問題も豊富。
委員	・教育出版か啓林館か東書かと思っていたが、話を聞いて啓林館が良いと思う。
委員	・東書と啓林館で悩んだが、話を聞いて啓林館が良いと思う。
議長	・数学については、委員全員の一致により啓林館に決定でよろしいか。
委員	・異議なし。
議長	・家庭について、意見はあるか。
委員	・開隆堂がよい。視覚効果がよい。家でやってみようとしたときにできるようになっている。
委員	・開隆堂がよい。どこも写真・絵・図があるがここは写真が大きい。手順も写真である。図ではなく写真で掲載している。作り方も写真があり手順があるので子供でも作れる配慮がある。
委員	・ある現象に対する理由があるのでよい。開隆堂がよい。
委員	・開隆堂か教育図書かで悩んだが、教育図書は権利や問題が丁寧に扱っており、そこにひっかかっていたが、開隆堂は見やすい。
議長	・家庭については、委員全員の一致により開隆堂に決定でよろしいか。
委員	・異議なし。
議長	・保健体育について、意見はあるか。
委員	・大修館がよい。写真、図が多く使われている。項目がただ書かれているよりも使いやすい。性感染症について大きな項目がありパッと見たときに生徒の関心を高められると強く感じた。H I Vについても分かりやすく具体的に載せてありよい。体のつくりが見やすく働きまで書かれているので大人になっても使える。
委員	・性に関する教育の部分について各社比較した。性に関する教育は停滞している。大修館は生命維持の一つとして性を捉えている。生殖だけでは

- なく、H I Vやマイノリティ等の問題を捉えているのでよくできている。
- 委員 ・大修館か学研かで悩んでいる、大修館は絵が詰まっております。学研はその点がない。
- 委員 ・大修館は写真が盛りだくさんである。学研はシンプルである。子どもたちにはシンプルな方がよいのか。難しいという思いを持たせないためには学研がよいのではないか。
- 議長 ・これまでの協議を踏まえ、投票を行う。
- 議長 ・ここで、休憩とする。
- 議長 ・再開する。
- 議長 ・投票結果を発表する。大修館 9 票、学研 2 票。
- 議長 ・保健体育については、投票の結果、大修館に決定でよろしいか。
- 委員 ・異議なし。
- 議長 ・音楽一般について、意見はあるか。
- 委員 ・合唱のつくりかたなど非常に丁寧。1 年生に作曲者へのエールというところに感動した。君が代の説明が国際的儀礼としてあり珍しい。譜面がとても見やすい。教育芸術社がよい。
- 委員 ・教育芸術社がよい。譜面が見やすい。四季の中の気候について作曲した国の気候の説明があり地理との関連にもつながる。
- 議長 ・音楽一般については、委員全員の一致により教育芸術社に決定でよろしいか。
- 委員 ・異議なし。
- 議長 ・音楽器楽について、意見はあるか。
- 委員 ・教育芸術社がよい。指の表記について、巻末にある資料が分かりやすい。琴についても取り上げられている。
- 委員 ・教育出版社について、1 つ 1 つが丁寧に載せられているが、教育芸術社もかわらないので一般と同じがよい。
- 委員 ・教育芸術社がよい。家でも繰り返し聴けるが、教育出版は楽譜が読めない生徒からすると難しいのではないかと思う。

議長	・音楽器楽については、委員全員の一致により教育芸術社に決定でよろしいか。
委員	・異議なし。
議長	・美術について、意見はあるか。
委員	・開隆堂がよい。教育のデザインがよい。単元と目標が分かりやすく使いやすい。
委員	・中身も非常に整備されていてよい。開隆堂。
委員	・開隆堂。美術は写真が一番美しい。明るい感じがする教科書であった。
委員	・手触りでゴッホのヒマワリが触れる。持った時の衝撃がすごい。中身も思考表現等育成しやすい構成である。
議長	・美術については、委員全員の一致により開隆堂に決定でよろしいか。
委員	・異議なし。
議長	・外国語について、意見はあるか。
委員	・開隆堂がよい。QRコンテンツが充実・AIの活用。
委員	・相手意識を意識した構成を見た。小学校で三省堂を選んだのは会話力をみて賛成した。今回でもペアグループで会話をする。相手意識をもって学ぶ。コミュニケーションを意識して学ぶ。受検を意識した英語ではなく、使える英語を目指している教科である。中学校においても継続し三省堂でよい。
委員	・三省堂がよい。1年生スタートは小学校の復習にあてている。巻末の資料も豊富。学びの振り返りができる。目次には活動内容があり、学ぶべきセンテンスが分かりやすく出ている。
議長	・これまでの協議を踏まえ、投票を行う。
議長	・投票結果を発表する。開隆堂4票、三省堂7票。
議長	・外国語については、投票の結果、三省堂に決定でよろしいか。
委員	・異議なし。
議長	・道徳について、意見はあるか。
委員	・光村図書がよい。単元のテーマの詳細がある。語尾が生徒に呼び掛けるようになっている。
委員	・前回の採択時に日文であった。ノートの扱いについて先生によっては物

足りないのではないかととなったが、ノートそのものが足かせになるという話は聞かない。担任が道徳を担当するため道徳の専門家はいないのでだれでも教えられるものがよい。何か手立てがあるとよい。ノートがあることで経験の浅い先生もある程度のレベルまでいくことができる。ノートがあることで四市のレベルが保たれていると感じる。現場で使いにくいという声が無い限りは現状でよいと思う。日文がよい。

委員 ・ 日文の道徳ノートのことだが、具体的か、曖昧かで自由度が高くなっているという説明の点にひかれた。

議長 ・ これまでの協議を踏まえ、投票を行う。

議長 ・ 投票結果を発表する。日文10票、光村図書1票。

議長 ・ 道徳については、投票の結果、日文に決定でよろしいか。

委員 ・ 異議なし。

議長 ・ 技術について、意見はあるか。

委員 ・ 開隆堂がよい。安全への配慮。プログラミング教育、情報教育への配慮がよかった。

委員 ・ プログラミングは詳しく見たが開隆堂はよくできている。プログラミングは力を入れていかなければならない。

委員 ・ 開隆堂がよい。写真や解説が非常に分かりやすい。

委員 ・ 開隆堂がよい。技術者インタビュー等がありよい。集成材について正確なスケッチが載っているのは開隆堂であった。

議長 ・ 技術については、委員全員の一致により開隆堂に決定でよろしいか。

委員 ・ 異議なし。

(4) 原案の確認

議長 ・ 第六採択地区における中学校用教科用図書採択の原案を確認する。
国語は光村図書、書写は光村図書、社会地理は帝国書院 歴史は東京書籍、公民は東京書籍、地図は帝国書院、数学は啓林館、理科は教育出版、音楽一般は教育芸術社、器楽は教育芸術社、美術は開隆堂、保健体育は大修館、技術・家庭（家庭分野）は開隆堂、技術・家庭（技術分野）は開隆堂、外国語は三省堂、道徳は日文ということで、以上、案として決定してよろしいか。

委員 ・ 異議なし。

議 長

- ・義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律の第十三条5項に、「当該採択地区内の市町村の教育委員会は、協議の結果を基に、種目ごとに同一の教科用図書を採択しなければならない。」となっている。本日の協議の結果に基づき、各市教育委員会での採択をお願いする。これにより、議長の任を解かせていただく。

5 挨拶（第六採択地区協議会副会長・新座市教育委員会教育長）

副会長

- ・時間にわたって協議をいただいた。今日の会議が、会長をはじめ、参会者の皆様方の協力により、無事終わられることに感謝している。
- ・今回の協議会を通じて、それぞれの市の教科書採択事務が円滑に進むことを望む。皆様には、今後とも、より一層のご支援、ご協力をお願いしたい。

6 閉会

司 会

- ・事務局から連絡する。

事務局

- ・各市教育委員会で議決した時点で、事務局（志木市教育委員会）に報告願う。構成2市において第六採択地区の案を議決し、教科書が採択された際には、事務局から連絡する。
- ・需要数報告のために、学校へ採択結果を周知する期日については、採択が決定した以降になる。

司 会

- ・以上により、第2回第六採択地区協議会を閉会する。